

モビリティシステムマネジメントセンター

MOBILITY SYSTEMS MANAGEMENT CENTER

Mobility Systems

... 移動すること ...

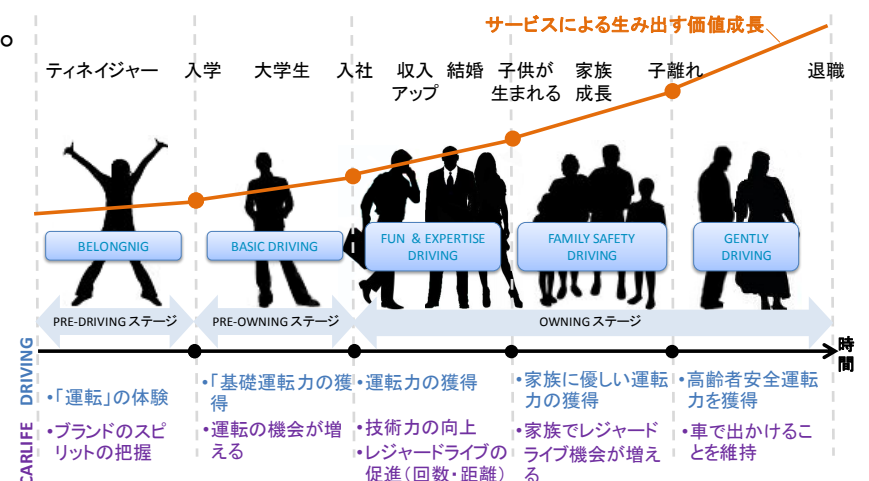
公共交通研究会を立ち上げ、日本交通計画協会の方々のご協力を得ながら、LRT (Light Rail Transit) の導入や地域活性化に向けたCCS (Community Cycling System)のあり方を検討しています。駅構内のユニバーサルデザインや人が行き来する空間内におけるパーソナルモビリティの機能、人やクルマとのインタフェースを検討していきます。



Service Design

自動車カスタマーの価値成長を促進するサービスシステム

自動車を所有するカスタマーに向けて、クルマを所有することや利用することに関する価値を成長させるサービスとはどのようなコトでしょうか？心理空間と物理空間からなるデザインモデルと、SysMLを用いたモデルベースのアプローチとの融合により、時間とともに変化するカスタマーの価値観を捉えながら、サービスをデザインします。



Control for Mobility System Safety

モビリティシステム安全の制御

オートバイや自転車はパーソナルモビリティとして、すでに広く普及しています。しかし、さまざまな交通環境の中でオートバイや自転車の転倒事故などが起こり、ライダーが大きなダメージを受けることもあります。そこで、ライダーのダイナミクスや操縦性を考慮し、オートバイ自身の安定性を高めるとともに、ライダーの操縦を適切にアシストするための制御システム開発を行っています。

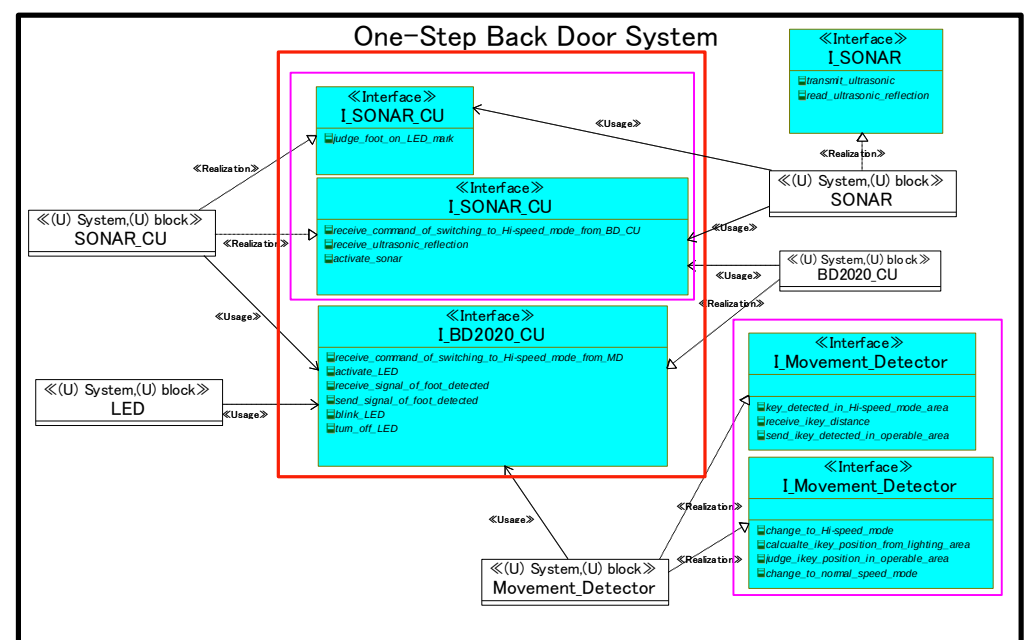
また、オートバイのみならず、大型車両やクルマ、歩行者や自転車間の相互作用に着目した研究を実施し、安全支援・環境技術による交通システム全体としての安全性の向上を目指しています。



System Modeling

自動車の電気・電子アーキテクチャのモデル化

自動車の電気・電子アーキテクチャ設計は、自動車の進化に伴い複雑化しています。この問題を解決するためSysMLを用いて、電気・電子アーキテクチャの設計を行うことを検討しています。現在は、自動車のバックドアシステムに関するアーキテクチャを得るためのシステムエンジニアリングプロセスを検討しています。



日本交通計画協会とともに組織している「公共交通研究会」を中心として活動を行っています。コンパクトシティに代表される都市計画において、LRT、電気自動車、パーソナルモビリティなどの移動体(モビリティ)をいかに活用するか、そのための周辺の環境やモビリティのデザイン、マネジメントをどのように具体的に実施するべきかを外部の専門家の方々と検討しています。

Think Transport!

代表: 西村秀和